

主要野菜の生産力強化と労働生産性の向上

～ ヨクハタラキ、ヨクアソベ、メリハリLIFEの実現を!! ～

令和3～7年度

【 北斗市東前14戸 】 （地域第1係）

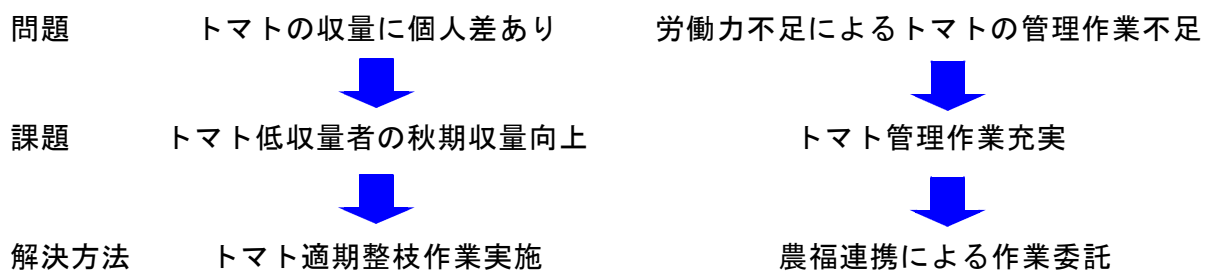
（課題番号1）

1 課題の背景

地域の現状

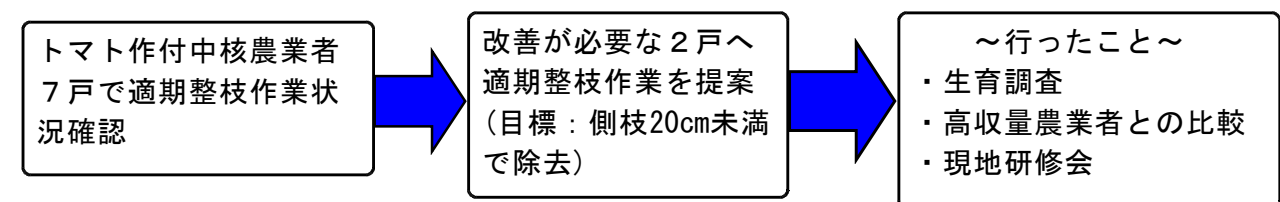
- ・水稲と野菜の複合経営が多く、売上の約9割を野菜で占めている。
- ・トマトの地区平均収量は低くはないが、栽培技術に個人差がある。
- ・高齢化、パート不足、規模拡大などによる労働力不足。

問題解決に向けた取り組み



2 活動内容

トマト適期整枝作業実施による秋期収量向上 < 主要野菜の生産性向上 >



調査ほ設置



現地研修会①



現地研修会②

農福連携によるトマト作業充実 < 経営の効率化の推進 >

- ・露地ねぎ除草作業委託提案（2戸）
- ・福祉事業所とマッチング（希望農業者1戸）
- ・作業料金設定に係る打合せ（農業者・関係機関・事業所・普及センター）



農業者、事業所と打合せ

3 活動成果

トマト適期整枝作業実施による秋期収量向上＜ 主要野菜の生産性向上 ＞

昨年より適期整枝ができた！

整枝作業状況（前年比・観察）

取組	月旬				
	7上	7中	8上	8中	8下
農業者 C	○	—	○	—	○
J	—	○	—	○	—

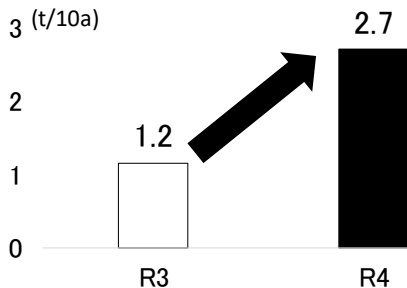
○：前年より適期整枝作業ができている場合
—：前年並

トマトの草姿が変化し、草勢安定！



秋期収量が向上しました！！

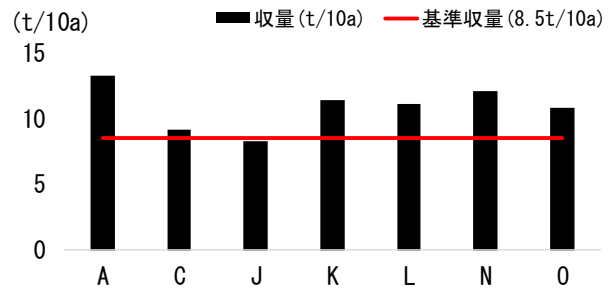
3 (t/10a)



取組農業者の9月収量データ

おおむね基準収量8.5t/10a以上を達成！！

(t/10a)



トマト作付中核農業者7戸の年間収量データ

農福連携によるトマト作業充実＜ 経営の効率化の推進 ＞

露地ねぎ除草作業委託 2回（15a、10a）



農福連携の
有効性を実感

トマト摘葉作業委託
1回（ハウス5棟12a）



作業委託で
合計126時間
を確保！
前年よりも作
業が充実し、
収量も向上！

前進・増加できたトマト管理作業

7～9月のトマト管理作業（前年比）

農業者	前進できた作業						増加できた作業				収量 (前年比)
	定植	誘引	整枝	かん水	摘葉	防除	整枝	かん水	摘葉	防除	
C		○			○	○	○	○	○	○	148%

- ・露地ねぎの除草をしてもらうことで、トマトの作業を止めずに済んで良かった。
- ・トマトの摘葉もパートさんと変わらない作業精度で、仕事の出来栄えに満足。
- ・北斗市での委託料金の基準があると頼みやすい。事業所によって料金が違うと頼みづらい。

4 今後に向けて

(1) 主要野菜の生産性向上

トマト作付中核農業者7戸で適期整枝作業による基準収量確保が確認できたため、本課題は完了とし、今後は地域への波及を図る。

(2) 経営効率化の推進

農福連携を地域内へ波及させ、野菜の管理作業充実を図る。